

看護部職員研修計画　＜現任教育研修＞

年間目標	1．質の高い看護サービスを提供できる看護師を育成する 2．患者・家族に信頼される看護師を育成する 3．多職種と連携し、患者・家族中心のチーム医療が提供できる看護師を育成する 4．専門職業人としての自覚を持ち、自己研鑽に主体的に取り組む看護師を育成する
------	--

★は看護実践能力習熟段階認定要件の必須研修

		研修名	目標	実施月		研修名	目標	実施月		研修名	目標	実施月		研修名	目標	実施月
専門性の開発能力	能力開発Ⅰ	プレゼンテーションスキル①	プレゼンテーションスキル（文脈の説明、伝達力）、事例プレゼンテーションの基礎を理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う	11月	能力開発Ⅱ	プレゼンテーションスキル②	プレゼンテーションスキル（文脈の説明力、伝達力）、事例プレゼンテーション応用について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	11月	能力開発Ⅲ	プレゼンテーションスキル③	プレゼンテーションスキル（文脈の説明力、伝達力）、学会発表の仕方について理解して、幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる力を養う		能力開発Ⅳ	★質改善④		
		★1）論理的思考①	論理的思考の基本（批判的吟味：クリティカルシンキング）の基本を理解し、必要に応じ助言を得て実践する能力を養う	7月		★1）論理的思考②	論理的思考の基本（垂直志向：ロジカルシンキング）を理解して、幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる力を養う	1月 2月		★論理的思考③	論理的思考の基本 批判的吟味：クリティカルシンキング 水平思考：ラテラルシンキング について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	10月				
		論理的思考① 2）レポートの書き方	論理的レポートの書き方を理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う			論理的思考② 2）レポートの書き方	論理的レポートの書き方を理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う			リフレクション③						
		リフレクション①				リフレクション②				生涯学習③	7 2-2 キャリアディベロップメント	12月				
		生涯学習①	専門職業人とキャリアディベロップ網との基本について理解し、必要に応じ助言を得て実践する能力を養う	10月		生涯学習②	専門職業人としての学びのスタイルと方法について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	12月		質改善③	・自施設の分析を行い、課題を明確にできる ・看護サービスを維持・向上させる取り組みができる					
		★質改善①	・自部署で看護・療育実践や業務改善等に取り組むことができる ・自部署で看護・療育実践や業務改善等に取り組んだことをまとめ、発表することができる	11月 報告会		★質改善②	・マネジメント手法が理解できる ・問題解決に向けて、アサーションを活用できる ・業務改善への取り組みを理解し、リーダーシップを発揮できる	6月 2月 報告会								
リーダーシップとマネジメント能力	管理Ⅰ	★リーダーシップ① （R4年度以前卒）	リーダーシップ、コーチング、ファシリテーションの基本について理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う	6月	管理Ⅱ	リーダーシップ② ★1）コーチングの活用	リーダーシップ、コーチングの活用を理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	6月	管理Ⅲ	リーダーシップ③			管理Ⅳ	★リーダーシップ④		
		★リーダーシップ研修Ⅰ （R5年度以降卒）	リーダーシップの基本的知識が理解でき、指導者の支援を受けて自部署の課題に取り組むことができる	5月 11月 報告会		リーダーシップ② ★2）看護チームとファシリテーション	リーダーシップ、看護チームとファシリテーションを理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	8月		サービス管理③				★人材育成（2）		
						サービス管理②	病院経営の仕組みと看護との関係について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う			★人材育成（1）		8月				
						医療安全（実践）	・医療安全体制について理解できる ・所属に潜んでいる危険因子を察知し、防止策を立てることができる ・看護師の法的責務について理解できる	8月		医療安全（応用）	・看護師の法的責務について理解できる ・インシデントアクシデントの根本原因を把握するための基本的な分析方法を理解する ・所属のスタッフと協働し、原因分析に取り組み対応策を導き出すことができる	8月 12月 報告会				
		サービス管理①	病院経営の仕組みを理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う			感染（実践）	感染経路別予防策を理解し、感染症の経路に応じた対応ができる	10月		感染（応用）	・感染管理上の問題点を明確にすることができる ・所属のスタッフと協働し問題解決に向けた取り組みができる	6月 12月 報告会				
専門的・倫理的・法的な実践能力 臨床実践能力	実践能力Ⅰ	倫理①	倫理的課題の顕在化の視点を理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う	7月	実践能力Ⅱ	倫理②	倫理的課題の顕在化と根拠について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う		実践能力Ⅲ	倫理③	倫理的課題の顕在化と解決方法の検討について理解して、幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる力を養う	5月	実践能力Ⅳ	★倫理④		
		看護記録①	看護記録方法の基本を理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う	8月		看護記録②	看護記録の評価、監査について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	8月		★アサーション③				★障害児・者看護Ⅳ	意思決定支援④	
		★アサーション①	アサーションコミュニケーションを理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う	10月		★アサーション②	アサーションとチームワークの促進について理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	6月		家族看護Ⅲ	家族アセスメントツールを活用し、看護実践ができる	6、7、8月 12月 報告会				
		個人情報保護①	個人情報保護を理解して、標準的な実践を自立して行う力を養う			家族看護Ⅱ	家族の心理を理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	9月		★障害児・者看護Ⅲ	重症児・者を巡るコーディネート、意思決定支援を理解して、幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる力を養う	10月				
		★家族看護Ⅰ	・家族看護の基礎知識と家族アセスメントの方法を学ぶ ・ジェノグラム・エコマップを作成できる	7月		障害児・者看護Ⅱ	重症児・者の生活を支える看護、意思決定支援、栄養管理、皮膚創傷処置を理解して、個別の状況に応じた判断と実践を行う力を養う	9月								
		障害児・者看護Ⅰ	障害児・者の成長発達、意思決定支援、栄養管理、皮膚創傷管理の基本を理解し、標準的な実践を自立して行う力を養う	8月												

新人看護職員研修年間目標	1. 所属施設の理念や役割を理解することができる 2. 専門職としての自覚を持ち、自己研鑽に心掛け知識・技術・態度を養い、指導を受けながら看護を実践することができる 3. 社会人としての心構えができ、責任のある行動と良好な人間関係が構築できる
--------------	---

	研修名	目的	目標
新人看護職員研修	新人研修Ⅰ (4月～6月)	所属施設の理念を理解し、看護チームの一員としての自覚を持ち、職場への適応ができる。	①所属施設の組織と役割を知る ②病院の看護とその特殊性を知る ③職員としての心構えができる ④障害に応じた安全な看護技術を習得する ⑤施設内の構造・設備と特徴を知る ⑥安全で安心な療養環境が提供出来る ⑦救命救命処置を理解する ⑧看護倫理についての知識を得る ⑨論理的レポートの書き方の基本を理解する
	新人研修Ⅱ (7月～9月)	看護判断の基礎と看護技術を学び、患者・利用者を尊重した態度やケアを実践する。	①障害や病態に応じた観察技法の知識を得る ②コミュニケーションについて理解を深め、患者(利用者)家族との関係性の構築ができる ③心身共にリフレッシュできる ④当院で起こりやすいインシデントや要因が理解できる。 ⑤安全で安心な療養環境が提供出来る
	新人研修Ⅲ (10月～12月)	障害児・者を取り巻く多職種の役割を理解し、チームメンバーとして指導を受けながら看護実践ができる	①多職種の役割が理解できる ②看護チームの一員としての役割が理解できる ③インシデント報告を速やかに行い今後の対策を考えることができる ④救命・救急について習得する ⑤特殊性のある看護技術を学ぶ ⑥医療サービスの基本について理解できる ⑦物事を俯瞰的に捉えることが出来る ⑧リーダーシップの基本を理解する ⑨安全で安心な療養環境が提供出来る
	新人研修Ⅳ (1月～3月)	1年の看護実践を振り返り、自己の課題を明らかにする	①患者の状態に即した看護について考え実践できる ②自己を振り返り、今後の課題や看護観について考える事ができる ③自身の看護観を言語化できる

	研修名	目標	実施日
全職員必須研修	気力ニュー① * ラダーが上がった時、 あるいは1回/3年受講する	・気管カニューレ管理の基礎知識を身につける ・気管カニューレ交換の実際を理解し行動できる。	5月
	重症度、医療・看護必要度 * 4階病棟勤務開始時に受講する	・重症度、医療・看護必要度の概要とアセスメント共通項目が理解できる。	5月

全職員対象研修	目標管理（基礎）	目標管理①	目標管理②	目標管理③	目標管理④
---------	----------	-------	-------	-------	-------

ステップアップ研修	呼吸管理① ・重症心身障害児者の呼吸障害の特徴 ・呼吸障害への治療 ・気管切開管理中の看護の基礎知識 ・人工呼吸器管理中の看護（基礎）	5月	呼吸管理② (演習) ・呼吸器チェックリストに基づいた確認 ・用手換気 ・人工呼吸器装着中の体位変換と車椅子乗車	6月	呼吸管理③ ・効果的な排痰ケアについて ・在宅人工呼吸器について	6月	呼吸管理④ ・人工呼吸器のアラーム対応 ・人工呼吸器療法におけるインシデント ・人工呼吸器スお着患者の支援における病棟の役割	7月
	こころの看護① ・こころの成長、発達 ・防衛機制 ・精神保健福祉法 ・CVPPP	6月	こころの看護② ・アタッチメント理論 ・愛着障害、PTSDの看護 ・発達障害の看護	7月	こころの看護③ ・プロセスレコード ・コミュニケーション（需要・共感）	8月		
	フィジカルアセスメント① ・フィジカルアセスメントの基本	5月	フィジカルアセスメント② ・緊急性の判断と報告	9月	フィジカルアセスメント③ ・気づく力、見抜く力	10月		
	Le'tプリセプター① ・新人職員受け入れの心得	4月	Le'tプリセプター② ・教えるスキル	6月	Le'tプリセプター③ ・OJTの効果的な進め方	9月	Le'tプリセプター④ ・指導上の悩み・困りごと解決	11月
	看護研究① ・研究倫理の基礎 ・文献検索	10月	看護研究② ・研究計画の立案 ・具体的な倫理的配慮	12月	看護研究③ ・研究倫理：研究倫理で問題となりやすいケース ・原稿の書き方 ・研究結果を発表するためのスキル ・グループワーク「模擬倫理審査」	1月		

◎合同研修 ☆看護部主催 ▲病棟取り組み		実施日
◎看護管理 応用	・県立病院の経営状況を知る ・自施設の分析を行い、経営的視点を踏まえて課題を明確にできる ・看護サービスを維持・向上させる取り組みができる	6月 1月 発表
☆看護療育 研究	・看護研究実施計画書が正しく書ける ・倫理的配慮ができる ・研究結果をまとめ、発表できる	2月 発表
☆病棟マネジメント * R6年度講義済 実践のみ	・マネジメントの実際（分析、課題抽出、目標立案） ・勤怠管理 ・ベッドコントロール ・物品管理 ・病棟ラウンド	9月 ～10月の 2週間
▲看護倫理	・看護実践において倫理的な問題に気づくことができる ・倫理的問題を自部署で検討することができる	11月末 提出